

一般社団法人 口腔がん撲滅委員会 主催

歯科医院で救える命がある！

「なぜ、今、口腔がん検診か？」

地域の口腔がんを考えるシンポジウム

ご存知ですか？

我々が救えるはずの多くの命が失われている現実を！

口腔がん死亡率

米国「19.1%」に対し、
日本は「46.1%」(2.5倍)！

口腔がん死亡者数

日本は増加の一途！
(世界の先進国で唯一！)

第1弾

北日本編

2017.7.9.(SUN)

本学での口腔がん治療の流れ

まずは**早期発見**！



早期治療！

ただし、**焦りは禁物**です！

本学での口腔がん治療の流れ

早期治療！ を行うためには？

的確な診断 → **適切な治療**

初診からの口腔がん治療の流れ

初診 臨床診断：悪性腫瘍の疑い

2週間以内



CT、MRI、PET、エコー、胸部エックス線

(TNM, stage の診断をつけ、治療計画をたてる)

血液検査、心電図、呼吸機能検査

(全麻スクリーニング)

腫瘍マーカー、細胞診

Ope日の決定

生検 → 確定診断：悪性腫瘍



(化学療法、放射線)

Ope

がんになったらどうすればいいの？

まずはあせらずに、口腔外科を受診することが望ましいでしょう！その際にいろいろな検査を受けて頂き、治療法を決定していきます。

① 全身検査



最初にレントゲン検査を行い顎骨への浸潤の有無を調べます。その後、全身的な検査を行い転移の有無を確認します。(全身への転移などがある場合、医科と連携の上治療を進めていきます。) 全身的な範囲を確認した後、がんの性質、進行の度合いにより治療法が異なります。

X線写真検査(パノラマX線写真、胸部レントゲン写真)

PET、MR、CT

血液検査(全身的一般検査、腫瘍マーカー)

心臓機能検査、肺機能検査

② 生検

生検(病理組織検査)を行いがんの性質を調べます。

口腔がんでは扁平上皮癌の割合が高い！

扁平上皮癌は分化の程度により予後が異なる。

治療の予後

良
↑
↓
悪

Grade I (高分化型)

Grade II (中等度分化型)

Grade III (低分化、未分化型)

③ 治療法の決定

がんの治療法には大きく分けて4種類の方法があります。

- ①手術
- ②化学療法(抗癌剤)
- ③放射線治療
- ④免疫療法

これらの方法を腫瘍の大きさ、性質、患者の全身状態、思考を考慮に入れ治療法を決定していきます。
治療法は口腔外科医より説明の上患者さん本人に決定権があります。

まずは**的確な診断**を行い次に
適切な治療を行うことにより
格段に治療成績が向上します！

こんな症状が続いたら要注意！

口の中の傷がいつまでたっても治らない。(2週間以上)

口内炎がどんどん大きくなっていく。

舌の動きが悪くなる、動かない。

舌が腫れてきた。

舌や歯肉が硬くなってきた。

口の中の感覚がない(麻痺、知覚鈍麻)。

すぐに口腔外科受診を勧めます！

初診からの口腔がん治療の流れ



どうか

的確な診断、適切な治療

にご理解、ご協力を賜りますよう
宜しくお願い申し上げます。